

(一社)日本道路清掃技術協会

当協会では、健全な道路環境の確保(ENVIRONMENT)・道路利用者の安全確保(SAFETY)・道路の美化(CLEANUP)の3つのキーワードを基に活動を進めています。また、協会会員が実施しています道路清掃作業は、社会資本整備における「ストック効果」あるいは「フロー効果」を持続可能とするための手段の一つと捉え、昼夜を問わず一丸となって使命を果たしてまいります。

1. 道路清掃の重要性

①交通流の阻害防止と事故等の未然防止

道路の側溝などに落葉や土砂、ビニール、木片等が滞積すると、降雨時に側溝を流れる水が流れ難くない排水柵や排水管などが詰ってしまい、道路冠水や陥没、道路法面の崩壊の原因となり交通の阻害や事故等に繋がります。また、沿道住居や商店等の浸水被害にも発展することが危惧されます。これらを未然に防ぐには定期的な清掃作業が重要です。

②道路利用者の安全(通行)の確保

路上には、トラック等の荷台から飛散する小石や砂、釘、缶、木屑などの他に、皆さんが考えもつかないようなタイヤ、家具などの大型落下物まで様々です。これらを走行中の車両(トラック・乗用車・バイク・自転車等)が踏むと大事故に繋がるケースもあります。大事故を未然に防ぐと共に、道路の変状箇所の点検のためにも重要な作業です。

③良好な沿道環境の確保と道路美化

道路に有害な塵埃等が溜まると、風等により飛散し、沿道住民に対する環境負荷が増大し健康への影響も懸念されます。環境負荷低減の観点からも清掃作業は重要です。

また、国の進める「観光立国日本」の観光資源としての道路の価値向上のためにも重要な作業です。

2. 道路上の事故・災害等

【落下物による交通事故】

下記写真は、千葉県袖ヶ浦市奈良輪の県道で乗用車がパンクし対向車線にはみ出し、ダンプカーと正面衝突し乗用車の男女4人が病院に運ばれたが全身を強く打ち死亡した事故です。警察によると、乗用車のタイヤがパンクし、コントロールを失ってセンターラインをはみ出した可能性があるとしている。



【降雨時の道路冠水状況】



3. 各清掃の前・後状況

【路面清掃】



【側溝清掃】



【歩道清掃】



【トンネル清掃】



4. その他

地震、風水害等が発生した場合など、迅速な災害支援活動も行っています(写真:東北地震の際の活動状況)。当協会では、東日本大震災(H23.3.11)以降延べ数千人にのぼる支援活動(TEC-FORCE)を実施しています。



(H27.9.30 宮城県遠田郡涌谷町地区:東北大雨災害支援状況) (H23.3.29 宮城県石巻市釜石地区:東北日本大震災支援状況)

(発行元) 一般社団法人 日本道路清掃技術協会

〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目17番4号日本ロードビル

TEL: 03-6435-1664

FAX: 03-6435-1665

<http://www.seisougijutsu.or.jp/>